



胆振日高支部報

第47回 胆振日高支部大会 開催

10月23日(日)、苫小牧市民活動センターにおいて第47回胆振日高支部大会が開催されました。当日は、JARL 北海道地方本部長 正村琢磨様、北海道地方選出社員の斉藤恵子様、原田進様、大國秀夫様をはじめとして、胆振日高管内のアマチュア局が一堂に集い、この1年間の報告と計画を話し合いました。特に、次年度の胆振日高コンテストに関しては貴重なご意見をいただき、すでに支部 HP において改正案を提示させていただいております。<http://lake-toya.jp/iburihidaka/>

また、「モース符号を楽しもう!」と題して、JA8HBH 伊藤光様にワークショップ講座を持っていただき、貴重な電鍵・パドルの展示や懐かしいテープ印字機の実演等、興味惹かれる内容となりました。CW はアマチュア無線の原点でもあり、これを機会に取り組んでみたいという方々が増えれば大変うれしいです。



室蘭市開港150周年・市制施行100周年 記念事業特別局 運用報告

JASNE 大滝 明

記念局とは言え、2ヶ月間の運用では短いと感じていました。が、2ヶ月だったら、毎日運用を目標にしようと考えました。

毎日、市役所へ出勤です。役所の出勤時間前から夜遅くまで12時間以上の勤務(?)、土、日、祭日も休まずでしたので市役所の守衛さんとも顔なじみになりました。

また、10,000QSO 超えを目標にしましたので、QSLカードは15,000枚作成しました。残った未使用カードは個人局で「開港150年・市制施行100年」をPRすればよいと考えたのです。

結局、10,888QSO となり、10,000 超えは達成しましたが、交信の約半数がFT8であり、このモードがなければ、2ヶ月で10,000QSO は不可能だったと思います。SSBは声が枯れるし、CWは集中力が続きません。

FT8は、よそ見しながらでもOKですし、極端な話、CQをセットして、トイレへ行って帰ってくると1局交信完了しているなど、ちょっと息抜きも出来ます。(この項、他に秘) 今回のFT8は、FT-897DS (10W機) のみの使用だったので、5W以下のQRP運用でした。このLow Power も、50W機との同時運用が可能になったものと思います。

しかし、OPが不足でした。同時運用が可能でも、OPが一人の時はどうにも……。コロナ対策で、密にならないよう調整することにしておりましたが、調整が必要な程、OPが来ませんでした。

アンテナも、多バンド対応のLoopやLong Wire、7・21のInv.VとZepなど、あまり立派ではないもののあちこちのバンドに出られるようにしたことも良かったと思います。

当初、LoopにはATUをつけていたのですが、Loopの長さが不適切な周波数で運用したらしく壊してしまいました。そこで登場願ったのが、私が開局当時に入手した東京ハイパワーのアンテナカップラー(HC-500A)とオスカーブロックのSWR計(SWR-200)です。壊れるところがない製品なのでまだまだ十分使用できました。バンド毎にバリコン位置をメモしておいたのですが、再現性の良いことには言うことがありませんでした。

ただ、電波伝搬のコンディションがあまり良くなかったような気がします。最初はコンディションをとらえることが出来ず苦戦していました。日中21MHz、夕方から7MHzがよい

傾向であり、また 50MHz の Es も要チェックでした。50MHz が落ち目になる前に 28 や 24MHz に降りると結構 FB に交信できました。(FT8) 毎日、コンディションが違うので、用意した OP の得意のモードとコンディションが合わず、せっかく来ていただいたのに QS0 に至らないこともありました。

FT8 は、7 MHz で、2,000~3,000 局程度でしょうか。(7 MHz・FT8 の交信数は 1574)

最初の内は、CQ を出さなくとも、WSJT-X の画面が真っ赤になりましたが、8月中旬(お盆の時期)以降は、CQ を出しても殆ど呼ばれなくなりました。それで、QS0 済みでない局をコールするようにしましたが、見えている局全てが同じ周波数で QS0 済みなんてことも多くなりました 18MHz・FT8 は、DX 局から最も多くコールされました。特に EU からのコールはこのバンドに集中しました。2m バンドの FT8 も結構いる事が判明しました。札幌や帯広、函館・青森はもちろん、大空町や、秋田県、山形県等も 2m・FT8 で交信できています。

7MHz・CW には”主”のような人がいて、”CQ”を出すと毎日呼んで来る。このバンド・モードで 5 回以上の交信をした局は数局います。どこで聞きつけてくるのか、異なるバンド・モードで 10 回以上の交信をした局も数局います。一番多いのは 15 回 (FT8 で 9 バンド、CW で 5 バンド、SSB で 1 バンド) という局がいます。何か仕掛けがあるのでしょうかね。

QSL カードの発行は、以下のようにしました。

1. 5,000QS0 までは、QS0 毎に 1 枚発行しました。(これは失敗かな)
2. 5,001QS0 以降は、異なるバンド・モード毎に 1 枚発行しました。同一バンド・同一モードの QS0 は 5 回分まで同じカードにまとめました。
3. 移動した場合の QS0 は、移動地毎(ダンパラ公園、祝津公園等)に 1 枚発行しました。
4. コンテスト(フィールドデー、胆振日高)の QS0 はコンテスト毎に 1 枚発行しました。今後の参考になるかもしれませんので、思いつくままに反省しながら書いてみました。

大滝様、ご寄稿大変ありがとうございました。私も特別局の運用を北海道本部から割り当てられて何度か運用しています。私の場合は常置場所からワンオペで運用していますので、自局のアンテナを使用できますし、他の周波数がかぶるということはありません。8J8RAN の運用はクラブ局の公開運用などマルチオペでの移動運用の参考になると思います。

次年度の胆振日高管内の特別局は例年の 8J8CLN などの他には、北海道地方支部内 8 支部結成 50 周年があります。また、話題に上がっていますがなかなか話が進んでいない日高山脈襟裳国立公園化記念特別局があるかもしれません。(大枠で国立公園化は決定していますが、その日時が決まらないため特別局の話も具体化できずにいます。十勝支部と共催になるかもしれません。) その節はご協力よろしくお願ひします。

第 15 回胆振日高ニューイヤー2m コンテスト

日時	令和 5 年 1 月 2 日(月) 09:00~1 月 3 日(火)21:00 まで
参加資格	胆振日高管内居住のアマチュア無線局(個人局のみ)
使用周波数	144MHz 帯 電信/電話(SSB,FM) ※JARL 制定のコンテスト周波数厳守
交信相手	日本国内のアマチュア局(個人局のみ)
呼出	○電話「CQ ニューイヤーパーティー」 ○電信「CQ NYP」
コンテストナンバー	RS(T)+名前(JARL 主催のニューイヤーQSO パーティーに準じる)
禁止事項	○クロスバンドによる交信 ○個人局の 2 波以上の電波の同時発射 ○レピータによる交信 ○インターネット回線を中継して行った交信 ○個人局でのゲストオペレータによる交信 ※常置場所と移動先の 2 地点運用を認める ※移動先は北海道内
参加部門	○個人局電話 ○個人局電信 ※クラブ所属の参加者はサマリーシートに所属クラブ名を記入
得点	国内のアマチュア局との完全な交信を 1 点
総得点	得点の合計 ※クラブ対抗の総得点:総得点×クラブ総参加人数
提出書類	○JARL 制定のサマリー、ログまたは同形式のものを使用 (A4 判) ○電子ログの提出にあつては JARL 制定様式を使用 ○コンテスト名称は「胆振日高ニューイヤー2m コンテスト」と記入 ○参加部門及び種目の名称は次のように記入 ・名称欄に参加した種目の名称をはっきり記入 ・クラブ所属の参加者はサマリーシートに所属クラブ名を記入
失格事項	○提出書類の不備 ○虚偽の申告があつた場合 ○複数部門への参加 ○書類締切後の到着 ○その他 JARL コンテストに準じる
入賞	○各種目との参加局数に応じて賞状を発行し、翌年の支部大会で表彰する ○参加 5 局以下:1 位のみ 6 局から 10 局:2 位まで 10 局を超えた場合:3 位まで ○提出されたサマリーシート記載のクラブ名ごとに総得点を集計し、順位を計上したうえで同様に表彰する。
書類提出締切	令和 5 年 1 月 31 日 23:59 のタイムスタンプまで。
書類提出先	○〒055-0004 沙流郡日高町富川東 5-23-7 J A 8 PMN 小林 敏哉 ○電子ログ: ja8pmn@jarl.com

入会金無料キャンペーン開催中

JARL では現在、入会金無料キャンペーンほか、各種入会キャンペーンを実施中です。

https://www.jarl.org/campaign/nyukaikin_campaign.htm

上の JARL のサイトを見ますと、入会金が無料の上、紹介者に QUO カードがプレゼントされます。その上で、抽選によりハンディ機が 3 名に当たるとのことです。このページを呼んでいる皆さんは、JARL の会員でしょうから、どなたか身近な方でまだ JARL 会員ではない方はいらっしゃらないでしょうか。ぜひ、紹介していただき私たちの仲間になってもらいたと思います。

アマチュア無線に限りませんが、一つの趣味を長く続けていくためには必ず仲間が必要です。相手があって初めて楽しめる無線の趣味ですから、仲間を増やしてみんなで楽しみましょう。

JARL 登録クラブ

JARL には「JARL 登録クラブ」という制度があります。地位クラブの会長さんや事務局を担当している方々をご存じでしょうが、それ以外の方々にはなかなかわかりにくい制度かもしれません。現在、胆振日高管内には 4 つの JARL 登録クラブ（伊達・苫小牧・えりも各地域クラブ・室蘭日赤奉仕団）があります。それぞれのクラブには社団局があると思いますが、実は、「社団局が JARL 会員である」とことと、「そのクラブが JARL 登録クラブであること」は関係がありません。社団局を持っていなくても JARL 登録クラブに登録することができます。

JARL 登録クラブに登録するには本部長の承認が必要ですが、特に難しいことはありません。以前はクラブ員の半数が JARL 会員であることなどが求められた時期もありましたが、現在は地域・学校の登録クラブにはクラブ員の決まった人数さえありません。

もし、みなさんがどこかのクラブに所属しているなら、そのクラブに登録してみませんか。残念ながら本部や支部からの助成などはできませんが、代表者を支部運営委員としてお迎えしたいと思います。

【編集後記】

10 月の支部大会以来、「次は支部報」と思いながら 2 か月も過ぎてしまいました。支部内のニュースが何かあればと思うものの、なかなかそうもいきません。やはり、電波の上でのアクティビティが上がらないと情報は集まりませんね

あとわずかで今年も終わります。1 月になればニューイヤーパーティで、みなさんとお空の上でお会いできることを楽しみにしています。